

AC-3 筑波大学附属病院における女性医師キャリアサポート体制について

筑波大学医学医療系脳神経外科¹、筑波大学附属病院総合臨床教育センター²

松村 明¹、瀬尾 恵美子²、小川 良子²、沼尻 晴子²

筑波大学では2008年から2010年まで文部科学省地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラムにて「女性医師看護師キャリアアップ支援システム」に採択され、働く女性の支援システムを整備した。プログラム終了後は大学附属病院総合臨床教育センターにて自立した支援プログラムを展開してきている。

本プログラムでは女性医師に対しては総合臨床教育センター教員による個別キャリアカウンセリングシステムを導入し、長期（3年）・中期（1年）・短期（1ヶ月）の研修目標をたててキャリア支援を行っている。また、短時間常勤制度を導入して育児や介護と両立しながらキャリアを継続できるような体制を整備している。さらには環境整備として7-21時までの法人内設置の保育所の整備している。さらには院内に小規模の病児・病後児保育施設を整備してベビーシッターサービスと契約している。ベビーシッターの手配については突然の発熱などに対応する事務方で24時間の受付体制をとっており、当日の外来や手術などをキャンセルしなくても済むような体制を整備し、小児科医との連携体制を構築している。本講演ではこれらの取り組みについて紹介していき、工夫のポイントについても触れていく。

今後、女性医師のさらなる増加、医師の働き方改革、男女共同参画の観点からサポート体制のさらなる充実が求められており、海外視察の経験なども含めて今後の方向性についても触れていきたい。

松村 明

1980年 筑波大学医学専門学群卒業
 1980年 筑波大学附属病院レジデント（外科・脳神経外科）
 1984年 西ドイツ Göttingen 大学脳神経外科助手（DAAD 給費生）
 1986年 英国ロンドン大学（National Hospital for Nervous Disease）
 1987-1992年 筑波大学脳神経外科関連病院
 1992-2001年 筑波大学講師（臨床医学系脳神経外科）

1995年 Max-Planck 生物物理化学研究所 NMR 研究部門 研究員（AvH 給費生）
 2002年 筑波大学助教授（臨床医学系脳神経外科）
 2004年-現在 筑波大学教授（臨床医学系脳神経外科）
 2007年 筑波大学附属病院副院長（総務・教育）
 筑波大学附属病院総合臨床教育センター部長
 2009年 筑波大学附属病院副院長（研究担当追加）
 2012年 筑波大学附属病院特任副院長（国際連携推進、国際総合戦略特区担当）
 2014年-2018年 筑波大学理事・副学長、筑波大学附属病院病院長